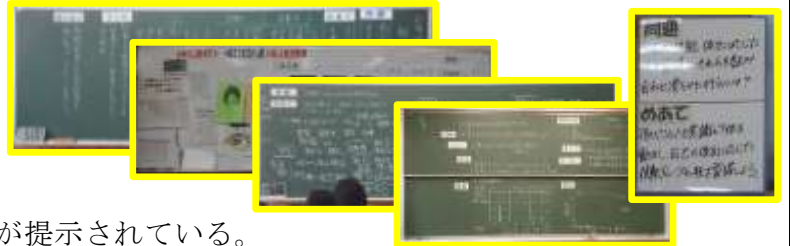


教科主任会 ～板書写真をもとに授業づくりの確認～

先日の教科主任会では、各教科の板書写真をもとに、授業づくりの確認を行いました。まず、板書写真をもとに気付いたことや自分の教科に生かしたいこと等を出し合い、その後、授業を展開するうえでの課題点や、その課題に関して他教科ではどのように取り組んでいるのか等の交流を行いました。



気付きや自分の教科に生かしたいこと等

教科共通

- ・どの教科も「問題」「めあて」が提示されている。
- ・どの教科も「考える視点」や「見る視点」が含まれた「めあて」が提示されている。

各教科から

- ・数学では、構造的に板書がされ、授業内容や考え方等の方法としての知識が見て分かる。生徒の思考の過程で「問題」や「めあて」が出されている。どの生徒がどの考え方をしているのかを表す工夫もできている。
- ・国語のように色を決めて「問題」、「めあて」などを囲った方が見やすい。
- ・音楽・美術・数学ではイメージが持てるように掲示物の工夫がされている。
- ・音楽では、音楽のどの部分のどの表現方法でそう感じたのか、考えを述べさせている。
- ・英語や社会のように流れに沿って板書すると分かりやすい。
- ・英語でも社会でも、自分の考えを表現する前にマッピングで考えを整理させている。教科を越えて同じ手法で考えさせるとスムーズな子供の活動につながる。
- ・英語では、表現活動の1度目と2度目の考えが残されて、大切なことへと導いている。
- ・板書量を増やすことを自分の教科でも真似たい。

課題点や確認点等

- ・「まとめ」「振り返り」まで確実に入るようにしたいが難しい。タイムマネジメントや内容の精選が必要である。
- ・教師が引っ張るのではなく、生徒の思考の過程で「問題」「めあて」を引き出すようにしたい。
- ・(保健体育科より)
5教科を中心に「まとめ」では気付きやその授業で身に付けさせたい力を書いているように見える。「振り返り」はこれから自分で生かしていきたいところという押さえで良いか？保健体育でもこれらを取り入れていく。(この後、各教科の「問題」「めあて」「まとめ」「振り返り」等について交流を行いました。裏面に各教科の「問題」「めあて」の考え方を添付しています。)

「新教育課程を活かす能力ベースの授業づくり」より ～板書に関して～

- P129 *板書により、子供がこの1時間で獲得した知識・技能、思考し判断した内容を振り返り、自身の変容や成長を実感できることで資質・能力が引き出される。
- P144 *子供の気付きを黒板に残して構造的に示すことで、筋道立てた思考の過程が可視化され、意味の理解が深まるようにすることが重要である。
- P159 *子供の思考の流れが見える構成やキーワードの使い方ができているか、資質・能力ベースでのまとめに近づけているか、子供の学びの文脈に沿った自然な展開になっているか。

教科主任会で配付している板書写真集を各教科会でも見合い、他教科の実践からも学び合っていきましょう。
また、今後の教科会では、同一時間の板書写真をもとに授業改善の検討を行うことにも取り組んでみてはどうでしょう。

令和3年度 各教科の「問題」・「めあて」の設定について

教科	「問題」と「めあて」について
国語	問題・・・単元を通してつきたい力 めあて・・・本時でどういうことに着目するのかを明確にして設定する。 (例・・・着目して考えよう)
社会	問題・・・小単元をつらぬいた「問題」の設定 めあて・・・1時間ごとに問題解決につながり、せまる「めあて」の設定 授業を振り返って、自分のことばで「まとめ」ができるような「めあて」の表現。 教科部会で検討、確認
数学	単元でつきたい力を確認した上で、1時間毎の学習内容でどんな力をつけるのか 「まとめ」を考え、その「まとめ」から「めあて」→「問題」(場面)を焦点化し、 1時間単位で設定している。
理科	問題・・・事象から(事象のない時もある)疑問に感じたこと めあて・・・問題から考えてみたくなる、やってみたくなることを生徒から引き出す。 この時間に解決すべきこと
英語	3年間でつきたい力を示した「CAN-DO リスト」を作成、共有。それを基に単元ゴールを設定し、その単元ゴールを「問題」とする。その「問題」に到達するために、「1時間ごとに何をしていくか」「どうすればその問題を達成できるか」を「めあて」としている。 単元によっては、単元ゴールでできるようになることに向け、毎時間、目的・場面・状況等に応じて「問題」を設定し、その「問題」の解決のための着目点や考える視点の入った「めあて」を設定する場合もある。
保健体育	問題・・・1つの単元を通して共通した問題を設定 めあて・・・各時間に身につけさせたいことを設定している。 (練習の時には同じ場合もある)
音楽	問題・・・1つの題材(小題材)ごとに設定 めあて・・・問題を解決するための手段
美術	問題・めあては、その時間に身につけてもらいたい力をもとに設定している。問題は「～だろうか」など問いかけるような言いまわしにしている。めあては「～できるようになろう」など身につけてもらいたい力を明確にするように心がけている。 「問題」をまず提示し、1分程度問題に対する自分の考えを美術の振り返り用紙に記入させ、その後、「めあて」を提示して、その時間の目標を持たせるようにしている。
技術・ 家庭科	問題・・・題材(小題材)ごとに設定 めあて・・・1時間のなかで身につけてほしいことを「めあて」として設定